

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	教養基礎	科目名	日本語表現法	科目コード	TL401A1
配当期	前期・後期・通年	授業実施形態	通常・集中	単位数	2単位
担当教員名	南野 和俊	履修グループ	1C(KS/KW)	授業方法	講義
実務経験の内容	資格専門学校で資格試験の論文指導を3年、また各種予備校で小論文・現代文の指導を20年行った。上記経験に基づき、文章を作成する上で必要となる知識・スキルを指導する。				
学習一般目標	文章から情報を正確に読み取り、 <u>筆者のイタイコトをきちんととらえる</u> ことができる。 自分の考えを <u>論理的に整理</u> することができる。そしてそれを表現することができる。 語彙を増やし正しく選択できる。自分の思いを正しく言葉に表せる。 作品などのプレゼンテーションをすることができる。→後期受講「コミュニケーション技法」に繋げる。				
授業の概要および学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術作品、小説、映像作品の感想文を書く。</li> <li>・新聞の社説などの要約、意見文の作成。</li> <li>・<b>語彙力、読解力、文章作成力</b>は短時間で身に付くものではなく、日々の積み重ねが大切。 この授業を受講し、上記の力を引き上げよう。</li> </ul>				
教科書および参考書	文章講解、作成能力検定(文章検)3級、公式テキスト、基礎から学べる!文章力ステップ【文章検3級対応】				
履修に必要な予備知識や技能	一般常識程度の知識と語彙力				
使用機器					
使用ソフト	筆記用具、辞書(国語辞典など)				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	4	日本語を正しく使うことができ、語彙を正しく選択できる。			
	4	文法的・意味的に正しい文章を書くことができる。			
	4	文章の構成を理解し、内容を要約することができる。			
	4	論理的な思考に基づき、意見文を書くことができる。			
	5	読むこと、書くこと、聞くことへの興味を持ち、積極的に取り組んでいる。			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合	50	10			20		20	100	
	学部 D P	1.知識・理解		10						10
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現	50				20			70
5.関心・意欲							20	20		
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験	前期：文章検定3級 模擬テスト（定期試験期間に実施）								
	クイズ 小テスト	語彙力強化テスト（毎回授業で実施）								
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他	出席率、授業内態度（話を聞いているか、時間内に指定の字数で書けているか）、取り組み姿勢（積極的か、意欲的か）などで総合判断する。								

## 授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運 営方法	学習課題(予習・ 復習)
第1週 4/10	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：授業オリエンテーション</li> <li>■文章力の必要性（シラバス・文章検定の概要説明、授業の趣旨説明）</li> <li>■語彙力の強化方法の説明・ブレーン・ストーミング</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第2週 4/17	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：文書に対する苦手意識をなくす</li> <li>■文章の基本を説明する(文章の正体、文章の目的)</li> <li>■文章作成力の基本「文章を書くときにやってはいけないこと」</li> <li>■語彙力強化プログラム(第3週以降も行います)</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第3週 4/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：基礎力の必要性と言葉への興味（語彙・文法）</li> <li>■語彙・類義語の概念を説明する（3級テキスト p.6～10）</li> <li>■文法について説明する（3級テキスト p.12～14）</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第4週 5/8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：文章を全体構成という点から見つめる態度を養う</li> <li>■文章読解（3級テキスト p.16～20）</li> <li>■資料分析（3級テキスト p.21～26）</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第5週 5/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：わかりやすく伝えることの重要性「文を短く」</li> <li>■分かりやすさの大切さ</li> <li>■短文化の意義とそのコツを説明する（3級テキスト p.28～31）</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第6週 5/22	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：推敲のための注意を認識させる</li> <li>■表現の推敲について</li> <li>■表記の推敲について</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第7週 5/29	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：敬語について、その基本をマスターさせる</li> <li>■敬語について説明する（3級テキスト p.29）</li> <li>■手紙における敬語（3級テキスト p.32）</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第8週 6/5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：手紙文の基本形式を確認させ、記書きの意義・効果を理解させる。</li> <li>■手紙文の形式を確認する（3級テキスト p.34）</li> <li>■実際に練習する（3級テキスト p.35～38）</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第9週 6/12	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：意見文の型とその意義を理解させる。</li> <li>■意見文の方を説明する（3級テキスト p.40）</li> <li>■意見文の内容作りを説明する（3級テキスト p.40～44・補充問題）</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第10週 6/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：意見文を作ってみる</li> <li>■事実と意見の関係を確認する（3級テキスト p.45）</li> <li>■意見文を書く練習をする。（3級テキスト p.46・補充問題）</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第11週 6/26	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：意見文を作る練習</li> <li>■意見文を書く練習をする。（3級問題週 p.62～67・補充問題）</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第12週 7/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：意見文を作る練習</li> <li>■意見文を書く練習をする。（意見文例題・補充問題）</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第13週 7/10	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：日本語表現（総合力）</li> <li>■まとめ問題（3級テキスト p.47～59）</li> <li>■まとめ問題解説</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。
第14週 7/17	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主題：日本語表現（総合力）</li> <li>■まとめ問題（「文章カステップ p.68～77」）</li> <li>■まとめ問題解説</li> </ul>	講義・実習	授業時 に伝え ます。